

ADVENTURE

2020年6月期第3四半期
決算説明資料

株式会社アドベンチャー

(証券コード：6030)

外部環境について…

外出自粛要請

渡航中止勧告

運行停止・減便

新型コロナウイルス

入国制限措置

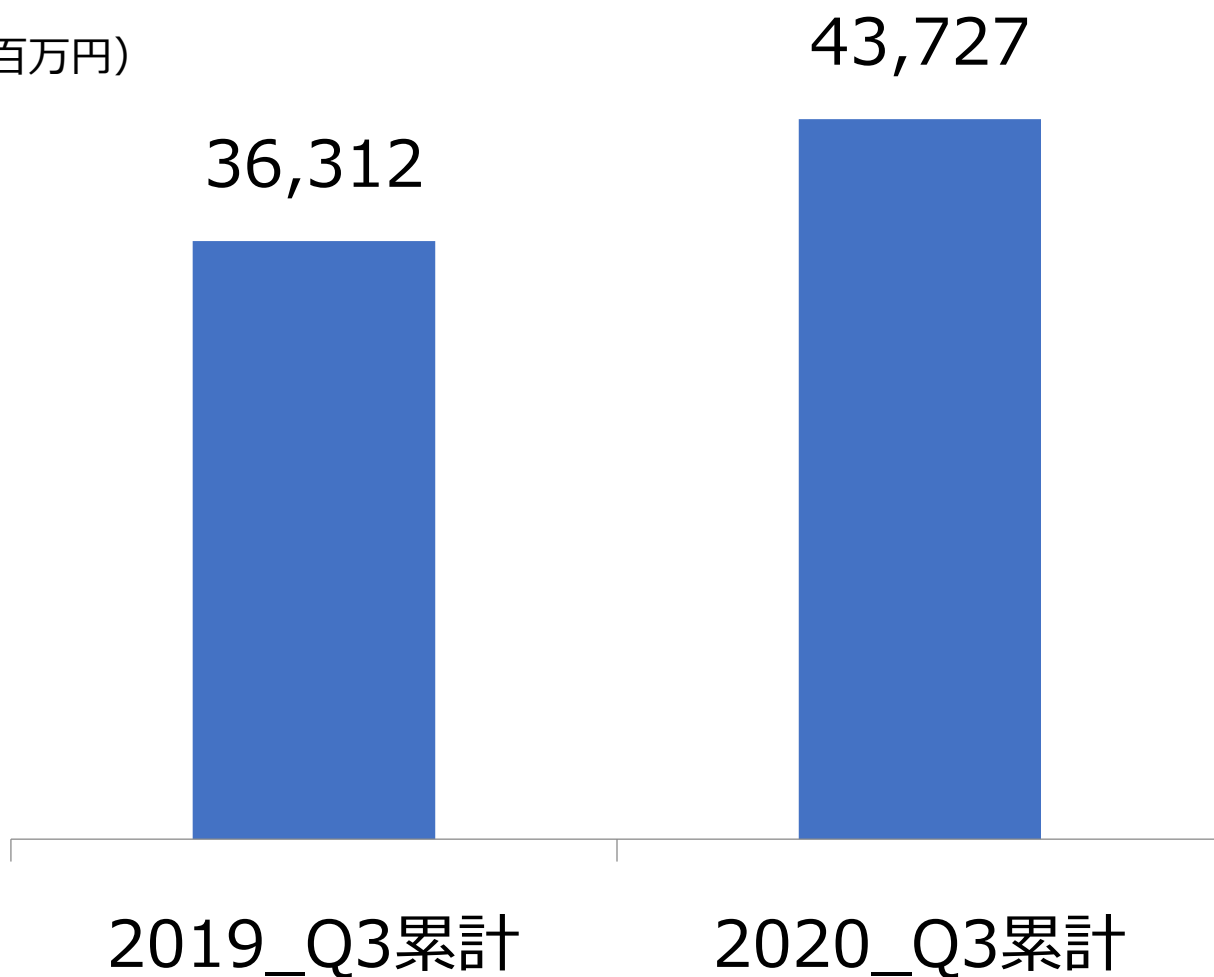
緊急事態宣言

休業要請

引続き厳しい状況が続いているが

収益：3Q累計

(百万円)

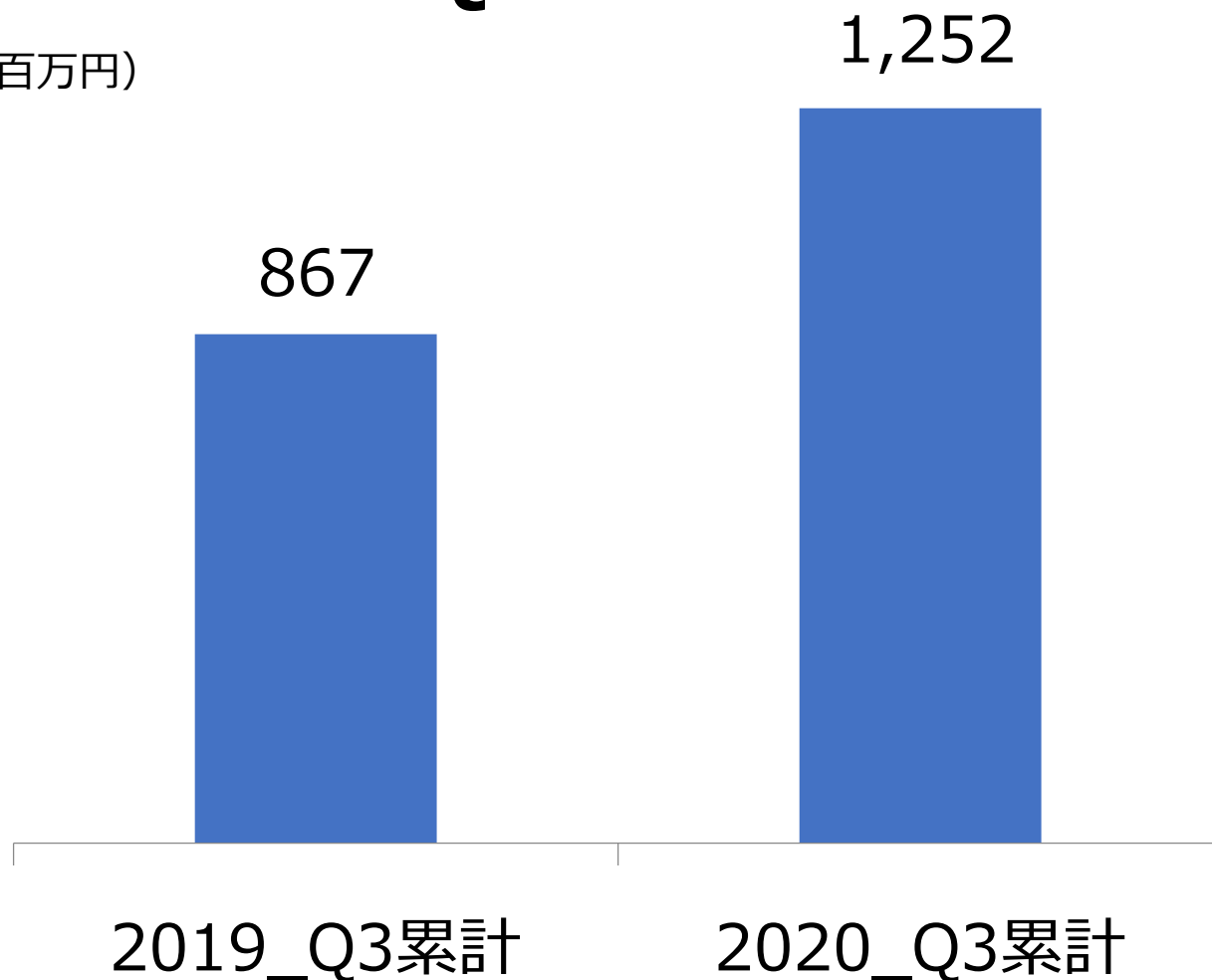


連結収益は前年上回る

120%

営業利益：3Q累計

(百万円)

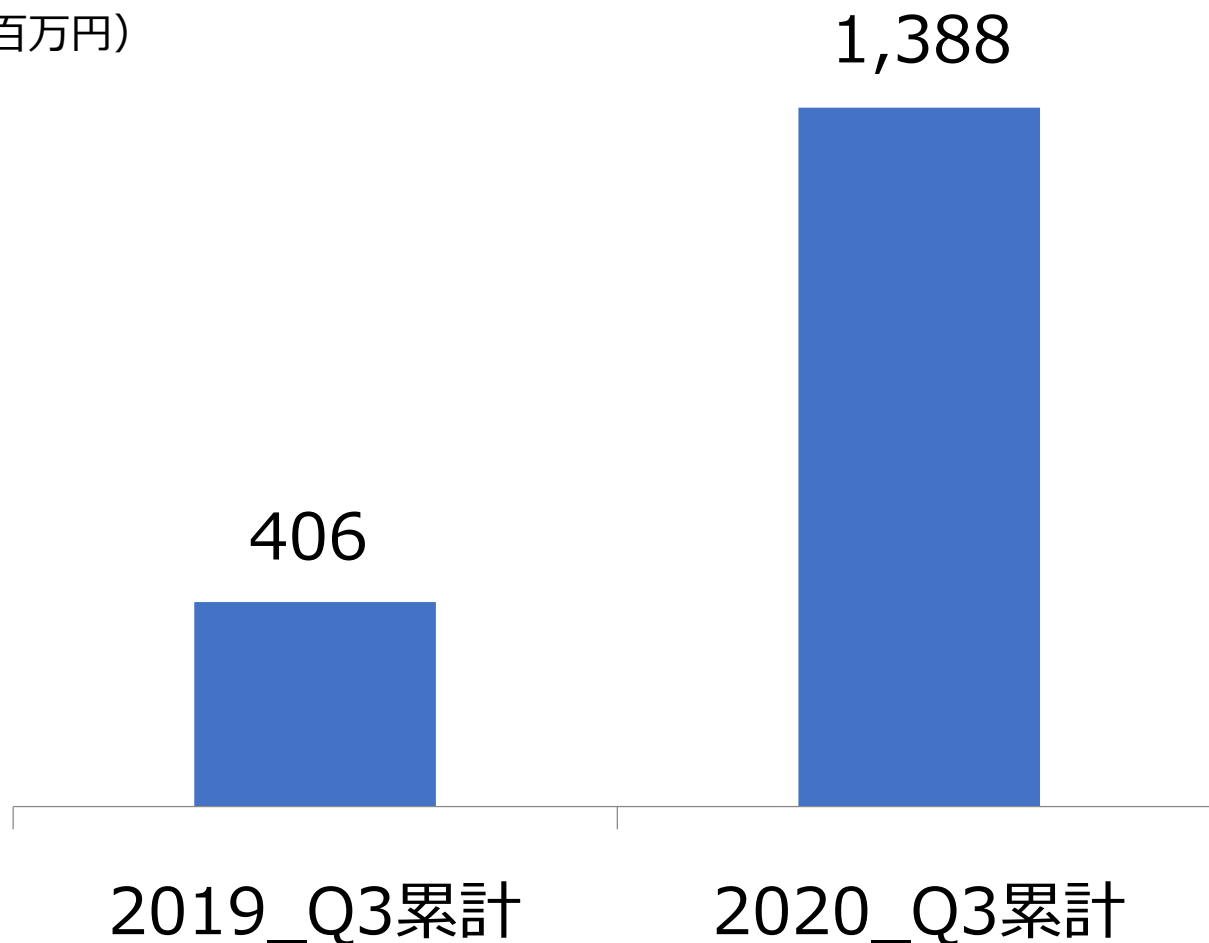


3Q累計で順調増加

144%

旅行系営業利益：3Q累計

(百万円)



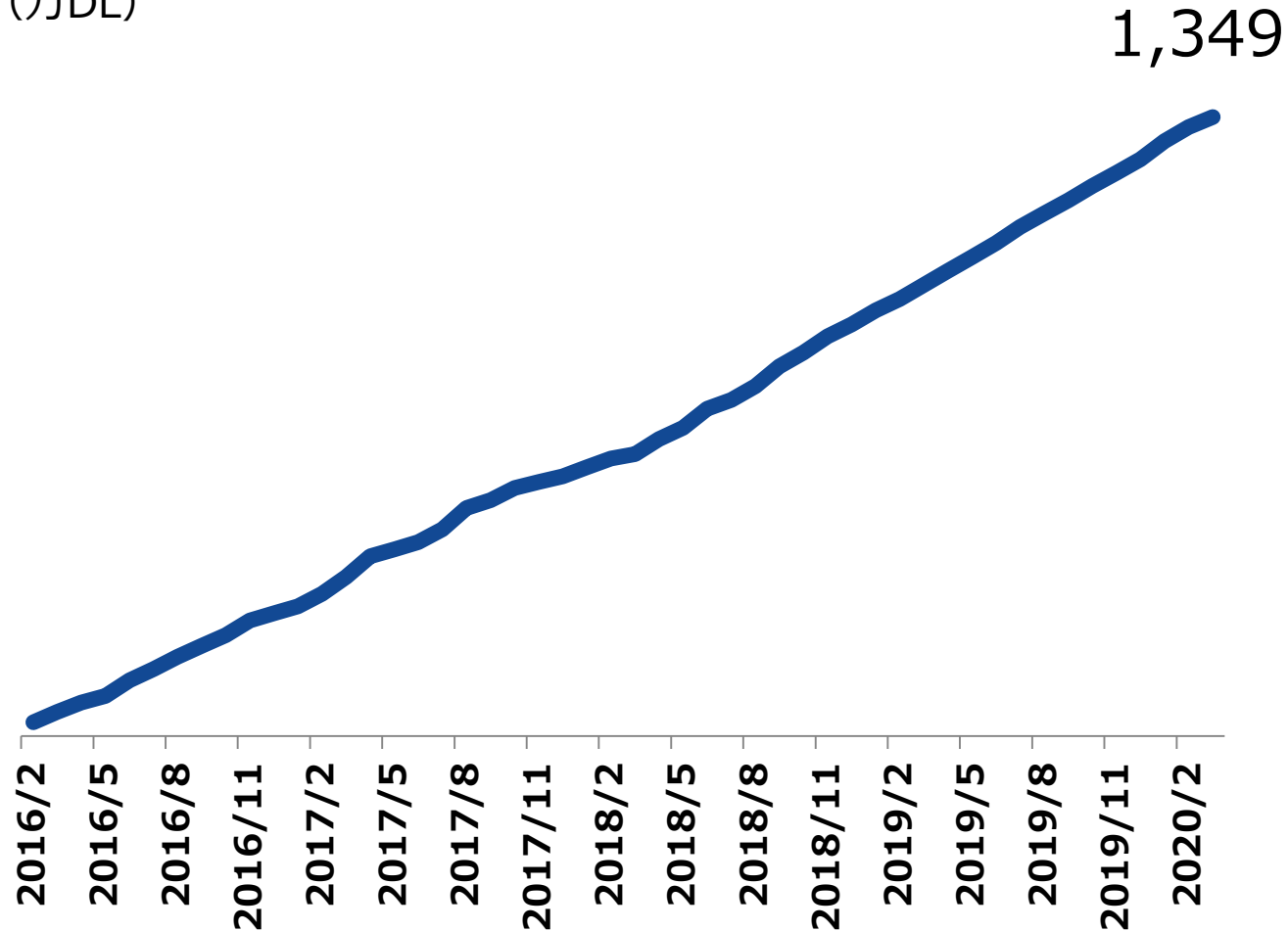
旅行系で大幅に増加

342%

※旅行系（コンシューマー事業（旅行系））：アドベンチャー旅行事業、コスミックグループ、TET、ラド観光、ビックハートトラベル

アプリダウンロード数

(万DL)



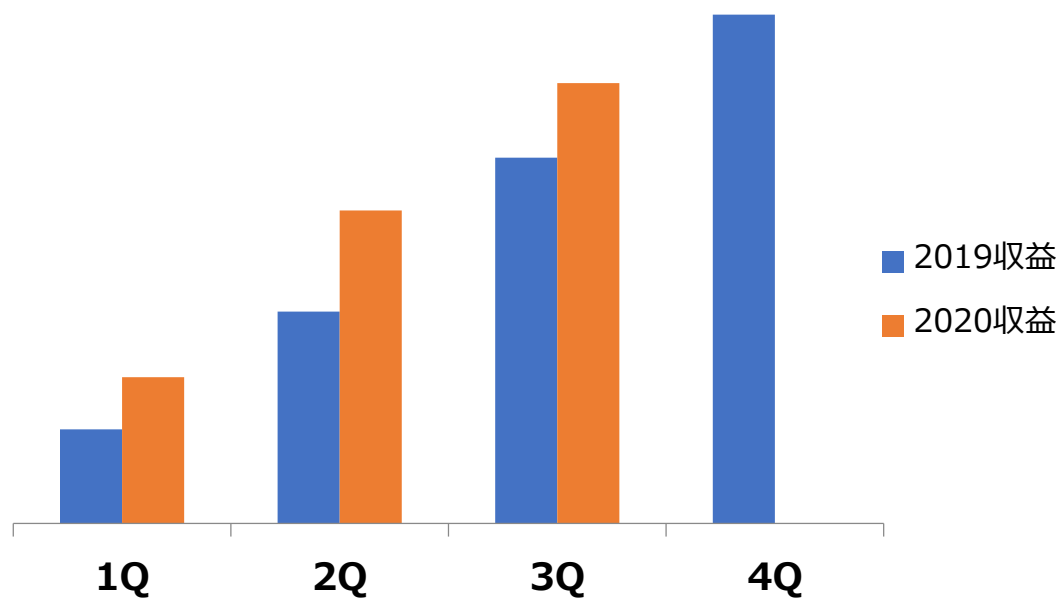
リリース以来順調に増加

1,300万 突破

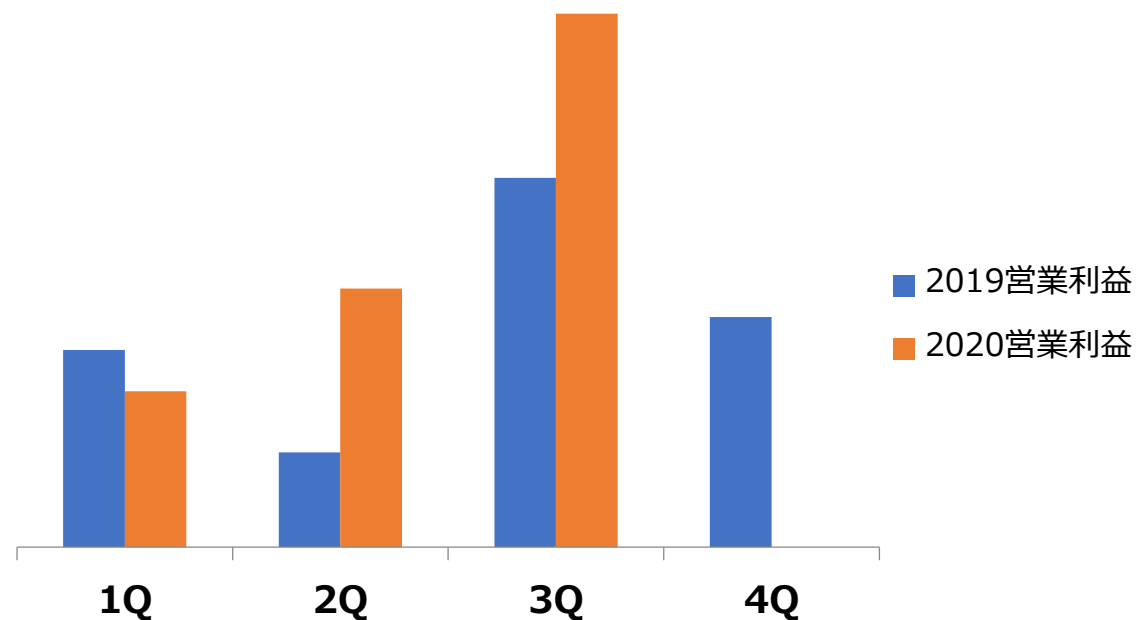


新型コロナウイルスの影響にもかかわらず、 通期で増益を目指す

収益推移（累計）



営業利益推移（累計）



1. 新型コロナウイルスの影響と対応
2. 第3四半期累計PL
3. 第3四半期累計BS
4. セグメント別利益
5. 経営資源の集中
6. skyticket事業の新規サービス
7. 参考情報

当社を取り巻く事業環境

◆コンシューマ事業（旅行関係）

- ：外出自粛要請に続き緊急事態宣言後に更に新規申込が減少
- ⇒広告宣伝費削減等によるコスト削減

◆コンシューマ事業（その他）

- ：店舗臨時休業、営業時間短縮等による売上の減少
- ⇒賃借料減額交渉等によるコスト削減

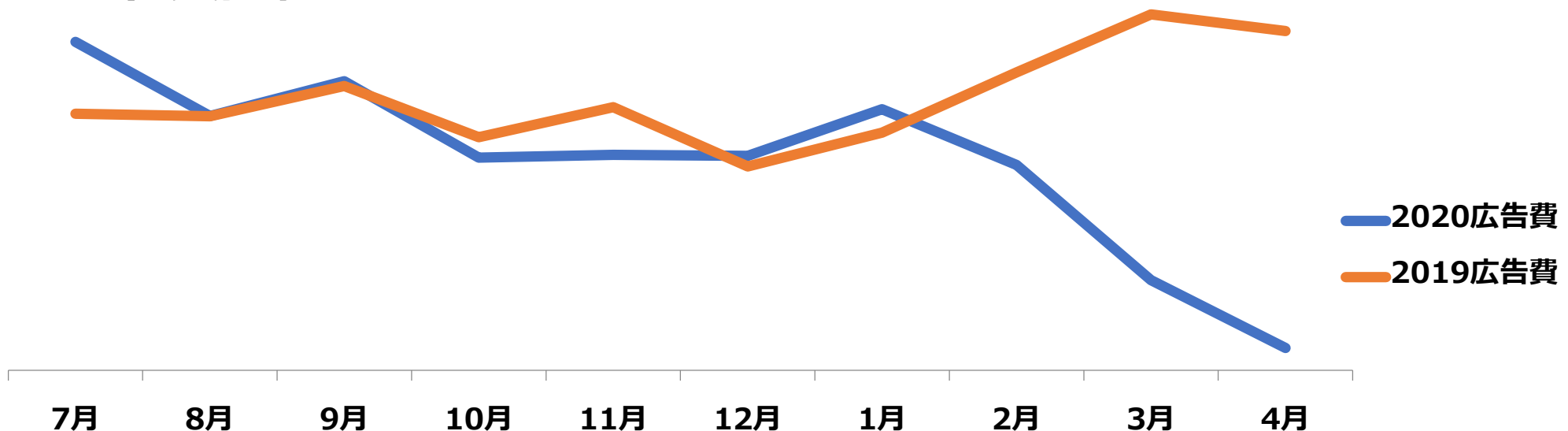
◆投資事業

- ：保有株式の株価下落による評価減が発生
- ⇒投資事業以外の本業での利益確保

取扱高増加よりも利益確保を引き続き優先

- ◆**新型コロナウイルスの影響による収益減少に伴い、広告費大幅削減を継続**
: CM広告廃止し、当面の間リスティング広告、アプリ広告、
その他広告も全て大幅削減

広告宣伝費推移



2. 第3四半期PL

ADVENTURE

② 累計期間

2Q迄の好調なスタートにより、3Q累計の営業利益が前期を大幅に上回っている。新型コロナウイルスの影響を鑑みて、引き続き広告費を大幅に削減し、通期で増益を目指す。

旅工房の評価損（2Qから3Q：▲5.8億円）含む

（単位：百万円）

	2019 3Q累計	2020 3Q累計	増減（率）
収益	36,312	43,727	7,414（120%）
営業総利益	10,770	11,517	747（107%）
販管費及び一般管理費	9,774	10,182	407（104%）
うち広告宣伝費	6,448	5,721	▲727（89%）
営業利益	867	1,252	380（144%）
四半期利益	492	641	138（131%）
親会社の所有者に帰属する四半期利益	499	652	142（131%）

3. 第3四半期BS

ADVENTURE

下記の現金及び現金同等物に加え、4月に20億の借入を行い手元資金の安定化を図った。（4月末時点：単体51億円、連結76億円）

（単位：百万円）

	2019 4Q	2020 3Q	増減（率）
流動資産	12,410	11,424	▲985（92%）
現金および現金同等物	3,455	4,337	881（126%）
非流動資産	4,598	5,899	1,300（128%）
のれん	2,442	2,437	▲5（100%）
資産合計	17,009	17,323	314（102%）
流動負債	12,771	11,752	▲1,019（92%）
非流動負債	2,706	3,472	765（128%）
負債合計	15,478	15,224	▲254（98%）
資本合計	1,530	2,099	568（137%）
負債及び資本合計	17,009	17,323	305（102%）

コンシューマ事業、旅行系営業利益は大幅成長

(単位：百万円)

	2019 3Q累計	2020 3Q累計	増減 (率)
コンシューマ事業	249	1,307	1,052 (524%)
うち 旅行系	406	1,388	892 (342%)
うち その他	▲156	▲81	75 (52%)
投資事業	617	▲55	▲672 (-%)
合計	867	1,252	385 (144%)

※コンシューマ事業（旅行系）：アドベンチャー旅行事業、コスミックグループ、TET、ラド観光、ビックハートトラベル

※コンシューマ事業（その他）：ギャラリーレア、wundou、EDIST、スグヤク、AppAge

旅行系に集中

旅行系事業が順調に推移しているため、
引続き旅行系以外の子会社に関しては売却を検討

今後（来期以降）の新規サービスへの展開等

1. 新規サービスメニューの拡充

: オプションツアー、空港送迎、国内ツアー、海外ツアー、
をサービスイン予定

2. サービスの多言語展開

: レンタカー、ホテル、DP、空港送迎、オプションツアーの
多言語化を予定

3. その他

: Go to Travelキャンペーン対応

宿泊施設向け無料キャンペーン

- ・ **新規契約宿泊施設向けに無料キャンペーンを実施**
： 2020年6月1日から2020年12月31日まで新規契約の宿泊施設の手数料を無料化



キャンペーンの詳細はこちらから
https://skyticket.jp/campaign/hotel_owner.php

7. 参考情報

① 会社情報

社名	株式会社アドベンチャー（英文社名 Adventure, Inc.）
設立	2006年12月21日
資本金	557,182千円
代表者	代表取締役社長 中村 俊一
所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー24F
事業内容	コンシューマ事業（航空券等販売サイト「skyticket」の運営）、投資事業
子会社	旅行系：ビッグハートトラベルエージェンシー(株)、コスミック流通産業(株)、(株)TET、ラド観光(株)、AppAge, Limited.、(株)スグヤク、コスミックGCシステム(株)、(株)wundou、(株)ギャラリーレア、(株)EDIST

7. 参考情報

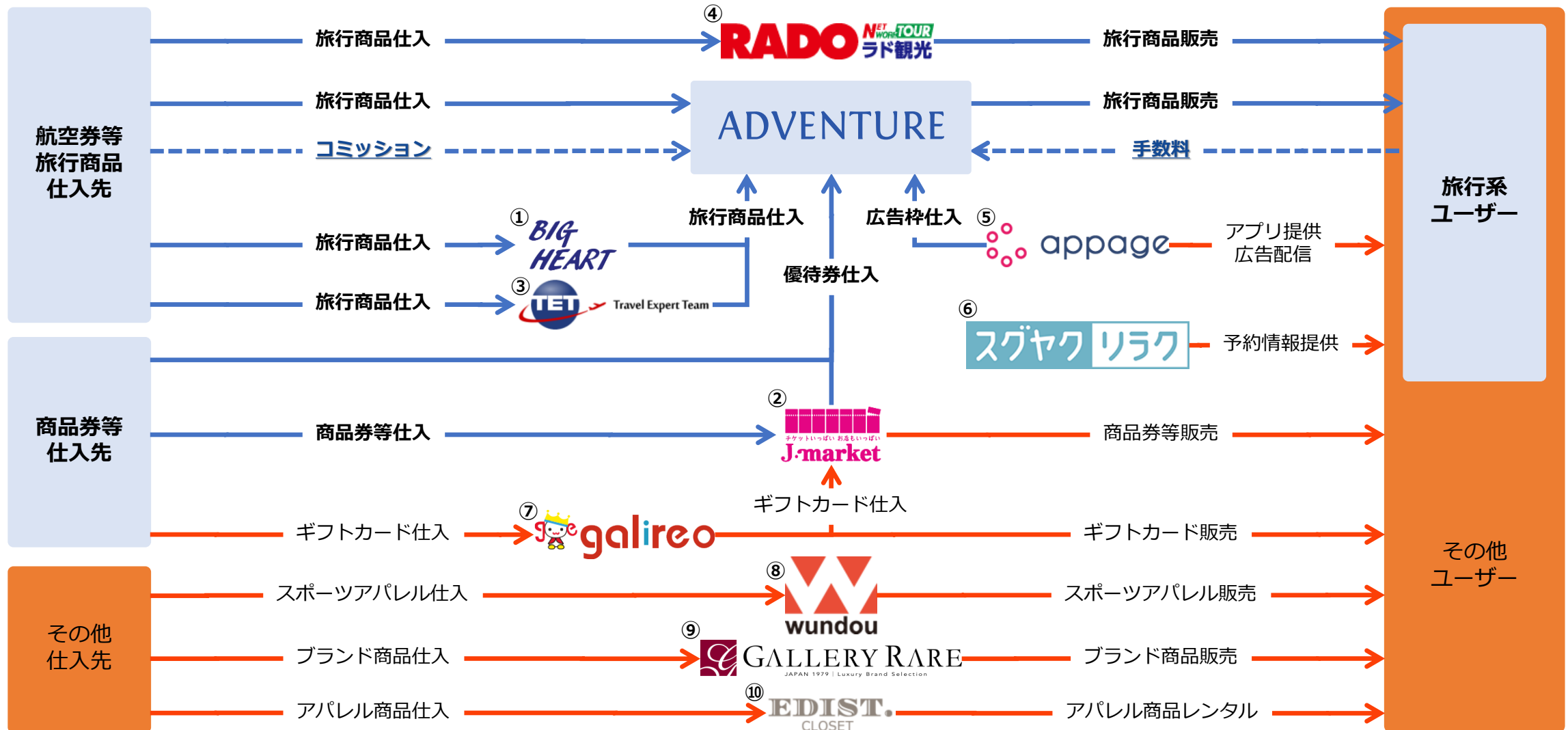
② 役員一覧

役 職	氏 名	略 歴
代表取締役社長	中村 俊一	慶応義塾大学卒、大学在学中の2004年に起業（IT関連企業）、2006年からOTAとして旅行事業に参入
取締役	中島 照	Western Illinois University卒、KLab(株)等を経て、2013年に当社入社
社外取締役 独立役員	宇都宮 純子	東京大学、Columbia Law School卒、宇都宮・清水・陽来法律事務所共同代表、(株)ZOZO監査役、(株)ソラスト監査役、ラクスル(株)監査役
社外取締役 独立役員	三島 健	The University of New South Wales (Postgraduate)卒、イーベイ・ジャパン(株)、エクスペディアホールディングス(株)代表取締役、(株)JTBBWeb販売部戦略統括部長等を経てグーグル合資会社モバイルアプリ統括部長
社外取締役 独立役員	雷 蕾	一橋大学大学院卒、野村證券(株)、(株)ネクソンを経てシンフロンテラ(株)代表取締役
社外常勤監査役 独立役員	児玉 尚人	横浜国立大学卒、監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）を経て2013年に当社監査役就任、公認会計士
社外監査役 独立役員	山川 善之	早稲田大学卒、響きパートナーズ(株)代表取締役、(株)リプロセル社外取締役、デ・ウェスタン・セラピテクス研究所社外都取締役、プレシジョン・システム・サイエンス(株)社外監査役、(株)カイオム・バイオサイエンス監査役
社外監査役 独立役員	角田 千佳	慶応義塾大学卒、野村證券(株)、(株)サイバーエージェントを経て(株)エニタイムズ代表取締役

7. 参考情報

③ ビジネスモデル

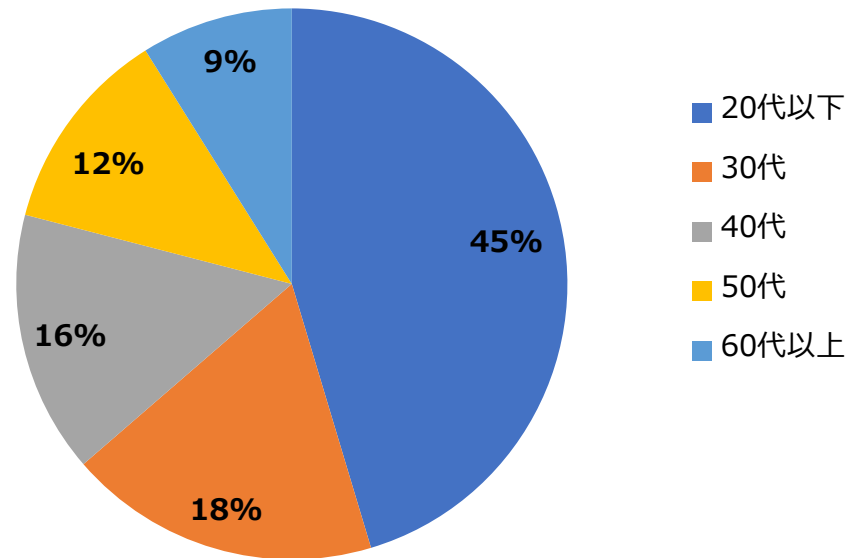
→ 旅行系ビジネス
→ その他ビジネス



7. 参考情報

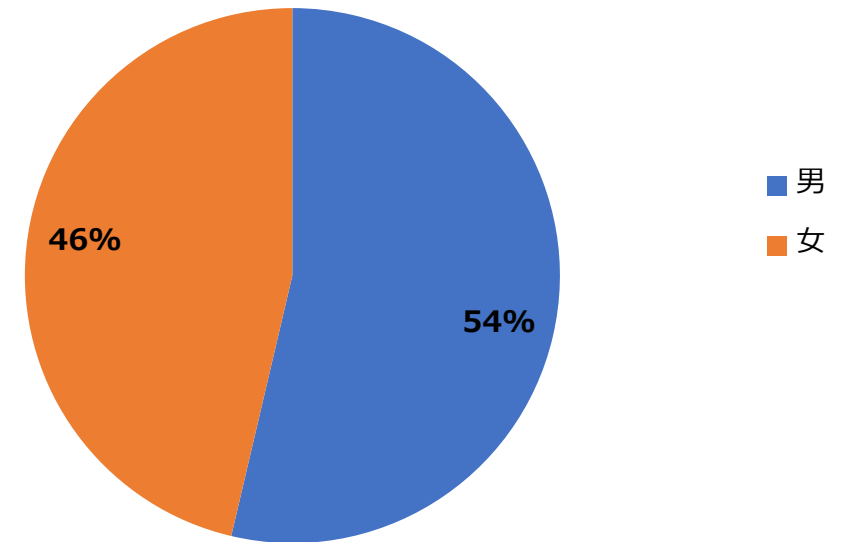
④ skyticket関連データ

年齢別航空券申込件数比率



※ユーザーの63%が30代以下

航空券申込件数男女比率



※男女の比率に大きな偏りはない

※今期3Q累計の申込数から算出

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。